

詩吟・尺八同好会

昨年の総会では念願の尺八演奏を嵯峨良平(S43E)、三平俊悦(S39A)、両氏と3人で「春の小川」と「ふるさと」の2曲を合奏することができました。これからももっと曲名を増やして発表できるように頑張ります。

また民謡では山形俊男氏(S39M)の唄に新たに三浦晃氏(S37M)の三味線が加わり、尺八を交えた本格的な秋田民謡になりました。そのあと三浦さんの津軽三味線の独演は見事なものでした。

一方、詩吟同好会の方は大和豊山流の川村渓泉先生による月に1回の稽古を新宿の音羽亭で行なっています。

昨年、大和豊山流の詩吟大会が白井市文化センターで行なわれ、ロックのメンバーである東京秋工会は、合吟で「菊花」を吟じました。また独吟では今まで稽古をしたものの中から各自が吟題を選び披露しました。

伊藤 周風（芳男）	四十七士
佐々木里風（進）	早発白帝城
地主 碇風（勝巳）	楓橋夜拍
加賀谷環風（健治）	送元二使安西
三平 旭風（俊悦）	終日偶成
鈴木 笙風（彦之）	過零丁洋

今年もまた6月に2年に1度の昇段試験がありました。

現在、雅号を持つメンバーは2段と3段ですが、個人的にはこれから詩吟を継続して昇段にチャレンジし、先生になろうとするには老い先が短い歳になったので、何枚もの立派な認定証書は宝の持ち腐れで無駄に感じます。まだ残っている黄色い本の残りの詩吟を楽しみながら、大きな声を出すことが健康を維持する秘訣だと思っています。しかし、可能な限り上を目指したい人は是非、昇段試験で頑張ってください。

そして嬉しいことに相馬洋風宗師が体調を回復し、カムバックすることになりました。これからが楽しみです。

私事になりますが、昨年は高齢者市営住宅に出向きボランティアで尺八演奏の出前を試みましたが、その後チャンスがなく今年に入り八王子市の福祉センター内で篠笛同好会があるのを知り、早速入会しました。65歳以上の男女15名ほどのメンバーが月2回稽古をし、間の週は市営の老人ホームに出かけ童謡、唱歌など小学校で習った歌を横笛に合わせてみんなで合唱するというものです。

市では高齢者を高齢者が支える活動を支援しており、市のホーム、特養、老健、デイサービスなど大小158ヶ所を対象に様々な活動を展開しています。毎年3月に新規登録者に対し内容の説明会が開催され、今年は約200名に手帳が発行されました。手帳には活動の都度スタンプが押され、年度末には申請すれば回数によって最高5千円が支給されるシステムになっています。

ホームでは20~30名ほどがホールに集り、1時間で篠笛合奏と尺八独奏を交え20曲位演奏します。最後は同窓会で入手したお座敷小唄の替え歌、「ボケない小唄」を歌って、みんな元気になろうというもの。

今年の東京秋工会の総会、来年(平成26年)の母校創立110周年記念では一層磨きをかけ、新しい詩吟に取り組んでいきたいと思います。



新宿「音羽亭」での詩吟練習風景／2013年6月22日

詩吟・尺八同好会

代表 鈴木 彦之（昭和31年機械科卒）

事務局 詩吟 佐々木 進（昭和40年採鉱科卒）

事務局 尺八 嵯峨 良平（昭和43年電気科卒）

連絡先 鈴木 彦之

携帯 090-1691-7435

E-mail shuzan-hiko@ever.ocn.ne.jp

◆記事

鈴木 彦之



地鶏串焼割烹
音羽亭

TEL. 3345-9434

新宿区西新宿6-6-2 ヒルトンホテルB1

◆営業時間／PM5:00～PM10:00 ◆日曜・祭日はお休みです。
(ランチタイム／AM11:30～PM1:30)